



法人会の理念

法人会は税のオピニオンリーダーとして 企業の発展を支援し 地域の振興に寄与し 国と社会の繁栄に貢献する 経営者の団体である



あけまして おめでとうございます!!

撮影 (株)大武写真館 小関克郎

良い日々が生き生き

大雄寺 住職 金子 高幸

仙台南法人会、「せんだい美名実」をご覧の皆様には、恙なく新年をお迎えになられたことお慶び申し上げます。

昨年、台風では甚大な被害を及ぼしました。被災された地域の早期復興を願わずにはいられません。大きな事件事故が相次ぎ振り返れば大変な年でもありました。それでもこうしてまた新たな一年を迎えられたことに感謝したいと思います。

冒頭の恙なくとは、【何かが起こっても不思議ではない状況で、幸いにも何もなかったときに使える言葉】だそうです。

家族と当たり前に顔を合わせ、食卓を囲み言葉を交わす。会社に来れば同僚がいて、自分に任された仕事がある。しかし、いつその幸せが壊れるかもわからない、仕事だって順調にいくかわからないのが本来の私たちの世の中です。

「そうあることが不思議であること」に感謝するから有難うという言葉があります。見えているように見えていないのが自分です。

新年を迎え誰もが、今年こそは良い年であるようにと願います。良い年とは良いと思える日の積み重ねです。ここでいう良いとは嬉しいことばかりではありません。たとえ仕事でミスをし、上司に怒られても、その一日を「自分の人生のかけがえのない時間」と思えば、日々が変わります。【いま、ここ、自分】です。

漫然と日々を過ごすことなく、その日その一瞬を大切に、楽しい事ばかりに気をとられず、つらいこと悲しいこともしっかりと受け止めていきましよう。今という大切な時間を与えられた日々感謝して一度の人生を生き生きとさせたいものです。

年頭にあたって



公益社団法人仙台南法人会
会長 佐藤 和也

令和二年の念頭に当たり、公益社団法人仙台南法人会の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。昨年、新たに会長に就任し新役員体制にてここまで大過なく事業を推進して新年を迎えることが出来ました。

これもひとえに会員の皆様を始め関係団体のご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。昨年を振り返ってみますと、日本国内が異常気象に見舞われ被害の報に接し、衷心よりお見舞い申し上げますとともにも一日も早い再建をお祈りいたします。十月一日からは社会保障の充実、安定化を図るため、消費税及び地方消費税の税率が八%から十%に引き上げられると同時に、消費税の軽減税率制度が実施されました。法人会の目的である「税知識の普及・納税意識の高揚に努め、税務行政の円滑な執行に寄与し、企業と社会の発展に貢献する」に関連する事業も実施しており

ます。女性部会では次代を担う子供たちに、税の啓発活動の一環として、税金が国民の生活に役立っているか正しく知ってもらうとともに、図画工作学習の貢献を目的とするために税に関する絵はが

きコンクールを実施しております。青年部会では今後の社会をなう子供たちに租税教育を率先して実施しております。本年は創立七十周年記念式典・祝賀会・記念講演会を開催いたします。会員及び地域の皆様の参加そして、財政基盤の強化に繋がる会員増強と福利厚生制度の充実を車の両輪と捉え、厳しい状況ですがよろしくお願いいたします。

最後にありますが、公益社団法人仙台南法人会の更なるご発展と、会員の皆様のご健勝と並びに事業のますますのご繁栄を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

最後になりますが、公益社団法人仙台南法人会の更なるご発展と、会員の皆様のご健勝と並びに事業のますますのご繁栄を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



創立七十周年記念事業のご案内

◎記念式典・祝賀会

日時 令和二年二月七日(金)
午後四時～
場所 宮城野区・仙台ガーデンパレス

◎記念講演会

日時 令和二年二月十一日(火・祝)
午後二時～三時半
場所 名取市文化会館中ホール

講演 無料(参加申込必要)
演題 「どきどきワクワクシンブル人生 男と女の経済学」
講師 経済アナリスト・獨協大学教授 森永 卓郎 氏

セミナーのご案内

◎人事評価を根本から見直す

講師 ニュークリエイトマネジメント 代表 長井 三郎 氏
日時 一月十六日(木)
午後一時三十分～四時三十分
場所 青葉区・震災復興記念館五階会議室

◎簡単にわかる決算書の見方

講師 財務リスク研究所(株) 代表取締役 横山 悟一 氏
日時 二月十二日(水)
午後一時三十分～四時三十分
場所 青葉区・震災復興記念館五階会議室

お問い合わせは仙台南法人会まで

税務署からのお知らせ

仙台南税務署では、令和元年分の所得税・消費税・贈与税の申告書作成会場を次のとおり開設します。

【場所】アズテックミュージアム(仙台市太白区中田町字杉ノ下十八)

仙台南税務署庁舎内には、申告書作成会場は設置しておりません。

【開設期間】
二月十七日(月)～三月十六日(月)
土日祝日等を除く(二月二十四日(月)・三月一日(日)は開設しません。)

【開設時間】午前九時～午後四時
混雑状況により、早めに相談受付を終了する場合がありますので、午後三時前のご来場にご協力ください。

・駐車可能台数に限りがありますので、公共交通機関等をご利用ください。

※申告書作成会場開設期間前の申告書作成指導は行っておりませんので、開設期間中にお越しください。

申告書作成会場は例年大変混雑します。

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、パソコン・スマートフォンから申告書を作成できますので、是非ご利用ください。

【国税庁ホームページ】
<http://www.nta.go.jp/>



新年のご挨拶



仙台南税務署
署長 古木 隆幸

新年明けましておめでとうございます。

元号が令和となつて初めて迎える新春に当たりまして、公益社団法人仙台南法人会の皆様へ謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

仙台南法人会並びに会員の皆様方には、平素から税務行政の円滑な運営に對して、深いご理解と多大なご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

また、仙台南法人会におかれましては、税務知識の普及と納税意識の高揚を目的とし、租税教育活動、税務研修会の開催、税を考える週間における行事の開催、eTaxの普及推進など、様々な活動へ積極的に取り組んでいただき、重ねて御礼申し上げます。

昨年、仙台南法人会は発足七十周年を迎えられたと伺っております。長年にわたる事業活動は、佐藤会長をはじめとする歴代の会長及び役員の皆様のリーダーシップと会員の皆様方の熱意とご努力の賜物であると、心から感謝

と敬意を表する次第です。

さて、昨年は改正消費税法に伴い、五年ぶりに消費税率が引き上げられるとともに、軽減税率制度が導入されました。今年度、制度実施後初の申告を迎えることとなります。

が、事業者の皆様には自ら適正な申告・納付を行っていただくため、制度の周知・広報や丁寧な相談等に引き続き取り組みまいります。

そして、間もなく令和元年分所得税等の確定申告の時期を迎えます。国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、スマートフォンによる申告手続の対象範囲が拡大されるなどの措置が講じられておりますので、より多くの納税者の皆様にご利用いただくことを期待しております。

結びに、仙台南法人会のみならず、ご発展と、会員の皆様のご繁栄を心から祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。



今年、「子年」。

十二支がスタートする年です。子の月は十二月。時刻は深夜零時を中心とする約二時間。方角は北。動物の名前は鼠。十二支とは現代の日本では、もっぱら年を表すのに使いますが、かつては月や時刻、方角などを表していました。怪談などで「草木も眠る丑三つ時」という文句が出てきます。この「丑三つ時」は、午前二時から二時半までを意味します。また、午前十一時から午後一時を「午の刻」、真ん中を「正午」、その前後を「午前」「午後」と呼ぶのも十二支の名残です。子午線は「北南の線」という意味です。

子年に込められた意味

子年は新しい運気のサイクルの始まりです。植物に例えると成長に向かって種子が膨らみ始める時期であり、未来への可能性を感じさせます。また、ねずみは「ねずみ算」と言われるほど、数を増やしていくことから「子孫繁栄」の象徴でもあります。株式市場にも「子年は繁栄」という格言があり、株価が上昇する傾向にあると言われています。二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックによる経済効果を考えると、あながち間違いではなさそうですね。

子年の人の性格と特徴

「ねずみ寝ず身」と言われ、真面目にコツコツと働く人が多いとされ

ます。ですから若いうちから財を成すことができるそうです。そして、鋭い勘とひらめきを持ち、コミュニケーション能力に長けているので自然と周りに人を惹きつけ、人生を難なく歩んでいける能力を持ち合わせています。

子(ねずみ)に縁のある神社

京都にある大豊神社は、狛犬ならぬ狛ねずみがいる神社として有名です。大国主命が野火に囲まれた際、ねずみが洞穴に導いて命を救ったという『古事記』の神話をもとに作られました。全国約八万社の神社のうち、狛ねずみがあるのはここだけで、子年のお正月にはたくさんの方々が訪れるそうです。

なぜ子(ねずみ)が一番目?

十二支の動物を決める際、神様の前に来た順番で決めることになり、牛は歩みが遅いからと先に出掛け一番に着いたが、開門の際、牛の頭上から鼠が一番先に飛び出したので一番目に。なお、鼠が猫に

●広報委員会がパソコンに「干支子」を検索
その中から文章をまとめました。



新しい風

げんきの宅配便 (第六十五便)

朝稽古から自分を見つめ直す

株式会社いこい住設 代表取締役 佐藤 康浩



公益社団法人
仙台南法人会の
皆様、新年あけ
ましておめでと
うございます。

名取支部の株式会社いこい住設の佐藤康浩と申します。日頃は皆様方に大変世話になっております。

弊社は昭和三十九年名取市において「宮城いこい風呂商会」として創業を始め、昭和五十一年社名を「いこい住設」と変更いたしました。私は平成十五年先代社長より代表取締役を引き継ぎ現在に至っております。現在は住宅設備機器の販売施工、管工事業、住宅リフォーム業を主に事業を展開しております。常にお客様に喜びをお届けできるよう、「新しいゆとりを」をキャッチフレーズに、社員一同頑張っているところです。

私の元気の源は、週に二〜三回行っている剣道です。少年時代から始めた剣道は、現在錬士六段です。普段は自分の稽古と少年剣道の指導をしています。



す。特に現在の一番の楽しみは、土曜日五時三十分から一時間の朝稽古です。七〜八年前から石巻市桃生町の桃武館での朝鍛会という会に高速で一時間ほどかけて通っています。会には三十人ほどの剣道仲間がいます。私は正しい剣道の基本と考え方を子供達に指導する上で自分自身が身に付けたいと思い、教士七段、木村民男先生のご指導をいただいております。早朝の稽古は季節の移り変わりを感しながら、山あいから出る日の出を拝み、稽古前の黙想では心静かに無心になることが出来ます。稽古では気合と竹刀の音が道場に響き渡ります。びっしょり汗をかいた稽古



の後はとても気持ち良く感じます。剣道の稽古では三摩の位ということわざがあり、習う・工夫する・錬る、この三要素を繰り返し行うことが大切です。私は今、直前の目標として七段受験をしたいと思います。その為にも三摩の位を大切に稽古に励むとともに仕事にも生かしていきたいと思っています。

このように周囲の皆様のおかげで剣道ができる感謝の心を持ちながら剣道と自分の現在の生活とを重ね合わせ、毎回自分自身を見つめ直すいい機会となっております。心身共にリフレッシュし仕事に興味に頑張っていきたいと思っております。

今後とも法人会の皆様にはご指導ご鞭撻をお願いし、会員皆様方の会社の発展とご健勝をお祈り申し上げます。



の後はとても気持ち良く感じます。剣道の稽古では三摩の位ということわざがあり、習う・工夫する・錬る、この三要素を繰り返し行うことが大切です。私は今、直前の目標として七段受験をしたいと思います。その為にも三摩の位を大切に稽古に励むとともに仕事にも生かしていきたいと思っています。



巨理町 (資)石垣 代表取締役 石垣 泰彦

法人会員の皆様こんにちは。当社は昭和六年に祖父が日用雑貨店を開業して以来、先代が書籍事務用品、贈答品など営業品目を増やして販路を拡げ、地域の小売店への卸売業と地元の官公庁や企業への商品納入を主な事業内容としてきました。残念ながら卸売業については小売業態の変化や後継者不足などで取引先の減少傾向が進み、更に先代から事業継承した二ヶ月後に東日本大震災が発生。弊社の御得意様は多くが沿岸部にあり、ほとんどが廃業されたことで業務継続を断念しました。その後、復興需要で防災関連品等これまで取扱のない商品の問い合わせが寄せられるようになり、弊社の営業品目を増やすことで対応させていただきました。現在は官公庁への様々な物品の納入と日用品については取引先への即日配送を主な業務としております。これからも変遷する顧客の需要に応じた供給が出来るよう努めて事業を続けていきます。

会員の皆様、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

ですか
実の和
こちは

生産性向上の決め手!

職場内コミュニケーション

経営コンサルタント 隆旗一彦

働き方改革（年次有給休暇5日付与義務・残業上限規制・同一労働同一賃金）が進み、人件費の実質的な増加による固定費上昇の圧力で、いかに必要売上を確保していくかを経営課題に掲げる向きの中小企業の経営者は多い。

まさに、経営者としては、ただでさえ、日本人の生産性は先進国の中でも非常に低いと指摘されているだけに、生産性向上は課題中の課題であり、課題に向かつて経営者が着手すべきは職場内コミュニケーションの充実と活性化、それがひいては人の集合体である企業の組織を活性化させることに直結するのである。

コミュニケーションの語源はCommonで、その意味する所は「共有」「相互理解」にある。

コミュニケーションの活性化は、互いに職場の人間同士が互いにサポートしあえる風土を創り上げていく上では欠かせないことであり、それは互いの成長を促すことにもなり、生産性向上の礎となるものである。

職場組織が人の集合体である限り、組織として機能させていく上で、コミュニケーションの活性化は欠かせないものである。

コミュニケーションは、キャッチボールに例えられる。「相手の構えた所」に「受け取りやすいボールを投げる」ことでキャッチボールは成り立つ。

「相手の構えた所」とは、相手が理解を深めたり、明確な明示について期待していることであり、「受け取りやすいボールを投げる」とは、整理された的確な内容であり、分かりやすい話をすることに尽きるのである。

このキャッチボールを円滑にするためには、相手の話をしっかりと「聴く」ことが非常に大切であり、「聴く」ことで相手の情報や知識が得られ、的確なボールを投げることができるようになる。

まさに、「話す」は「聴く」ことが大事なのである。ややもすると、自己満足的に「上手に話す」ことに力が注がれがちだが、「聴く」ことで、的確なボールを投げる「話す」ことが実現するのである。

相手に、理解・同意・了解・納得・感動・共感を得るために、双方のコミュニケーションが成立しなければならぬ。

そのためには、積極的に「聴く」姿勢が欠かせないのである。

「聴く」は相互理解のためのコミュニケーションの基礎であることを理解し、決して独りよがりになってはいけないのである。

それは、職場内コミュニケーションに限らず、お客様との商談での基本でもある。お客様の「的確なニーズ・情報」を把握して、核心を突いた提案や情報提供があつてこそ商談は成立するのである。

のである。

さてここで、生産性向上を目指す経営者が職場内コミュニケーションの充実と活性化において心に止めておきたいのは、部下である社員を持つ管理職者のコミュニケーションの取り方である。

部下にヤル気を出してほしい場面で「なぜできないんだ」と否定的な言葉を連発したり、部下の本音を聞き出すという場面で詰問調になることも見掛けたりするが、マイナスであり、経営者として管理者にアドバイスしておきたいところです。

また、部下のヤル気を引き出す上で管理者の「誉める」ことが大事と言われるが、「人を褒めるのか」「行動を褒めるのか」「成果を褒めるのか」を明確にした接し方を経営者は管理者に指導しておきたいところです。

さらに、管理者である上司が部下の営業実績に最大の関心を寄せているものだが、部下が帰社した即座に、「受注は取れたか?」との開口一番の質問ではなく、「ご苦労様、猛暑だったが、大丈夫だったか」と労いの言葉を先ず掛けられたら、部下の心地良い風が吹き抜けるのではないだろうか。

経営者から管理者が心掛けるべきコミュニケーションの有り様を助言してはどうだろうか。

経営者としても職場内コミュニケーションで率先、心掛けて、取り組んでいくことも少なくないように思えるだけに、生産性向上を望む経営者が率先して組織を活性化させるコミュニケーションに取り組んでいくことが活路を拓くものだと思う。

お元気
美名実
こんにち



巨理町
(株)エフエムわたり
代表取締役
苫米地 圭

法人会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。令和二年の新しい年を、会員の皆様と迎えられたことを心から喜んでおります。

弊社は平成二十九年設立、平成三十年十一月、巨理町コミュニケーション放送局「FMあおぞら」を開局しました。「地方の時代」といわれていますが、地域が本場に元気になるためには、町に住む人ひとり一人が、わが町に誇りを持ち、生き生き暮らせる、そんな町づくりが大切です。そのほんの少しのお手伝いをしたい、そんな思いで放送しています。だから「FMあおぞら」の情報は「巨理一〇〇%」。番組を担当するパーソナリティーも全員巨理郡に住み、巨理郡にかかわっている人です。

まだ駆け出しですが、「いつも聴いているよ。」「巨理のことがわかった。」というリスナーの声に励まされながら、巨理町の元気と安心安全を作る情報を提供し、地域に愛されるコミュニケーション放送局を目指し、より一層の努力をして参ります。ご指導宜しくお願致します。

美名実 活動 Photo レポート

第二十八回親睦ゴルフ大会

十月三十日
(水)、山元町「宮城野ゴルフクラブ」において第二十八回親睦ゴルフ大会が三十六名の参加のもと開催されました。当日は久々の晴れとなり盛会のうちに終了することができました。皆様から数々の賞品、ご協賛をいただきありがとうございました。優勝は(株)いしもり・石森義信様です。



決算法人説明会

十一月七日(木)午後一時三十分より太白区中央市民センター大会議室において決算期を十・十一・十二月に迎える法人を対象に「決算法人説明会」

を開催いたしました。申告書を作成する上での基礎的な知識の研修会を行いました。その後、ダイレクト納付についての説明がありました。当日は一般の方も含め二十五名のご参加をいただきました。



仙台太白支部

社会貢献事業

十月十九日(土)「第十六回太白山登山道清掃&親睦芋煮」が開催されました。当日は、先週よりの天候と当日も雨の為、太白山登山道清掃は中止となりました。あいにくの天気にもかかわらず約二十名が親睦芋煮会へご参加をいただきました。来年も宜しく願っています。



税務研修会

十一月十五日(金)午後五時から太白区...という会館において、講師に仙

台南税務署法人課税第一部門統括国税調査官太田康明氏を招き「そうだったのか消費税」と題して税務研修会を行いました。今年十月から消費税が改正され、統括から直接説明を聞く事が出来、貴重な時間を過ごすことができました。



名取支部

名取市財政研修会

十月二日(水)午後二時三十分から名取市商工会館において「名取市の財政状況と今後の行方」と題して名取市商工会と共催で研修会を開催いたしました。講師に名取市総務部財政課主幹



兼財政係長 針生大輔氏をお招きし、名取市の現在と今後の財政状況について説明していただきました。出席者からの質問にも丁寧に答えていただきました。有意義な研修会となりました。

無料税務相談会

十一月三日(日)文化の日に「ふるさと名取秋まつり」が名取市民体育館前広場において開催されました。当日は、税理士による税の無料相談や仙台南税務署の皆さんと共に小学生を対象とした「一億円レプリカ」の重さ体験、税の啓蒙チラシ等の配布を行いました。



税務研修会

十一月十四日(木)午後五時から名取市・守屋寿司において、講師に仙台南税務署法人課税第一部門統括国税調査官 太田康明氏を招き「そうだったのか消費税」と題して税務研修会を行いました。今年十月から消費税が改正され、初めて統括から直接説明を聞く事が出来、貴重な時間を過ごすことができました。



岩沼支部 税務研修会

十一月二十八日(木)午後五時から岩沼市・竹駒神社参集殿において、講師に仙台南税務署法人課税第一部門統括国税調査官 太田康明氏を招き、「そうだったのか消費税」と題して税務研修会を行いました。今年十月から消費税が改正後、統括から直接説明を初めて聞く事が出来、貴重な時間を過ごすことができました。



巨理支部 無料税務相談会

社会貢献事業の一環として「わたりトコトン商人まつり」が十月二十七日(日)巨理町五日町・中町商店街において開催されました。当日は、税理士による税の無料相談や仙台南税務署



の皆さんと共に小学生を対象とした「税金クイズ」や「一億円レプリカ」の重さ体験、税の啓蒙チラシ等の配布を行いました。

社会貢献事業

十月二十九日(火)午後四時から巨理町しらかし通りにおいて、毎年恒例となっており「しらかし通りクリーンアップ作戦」を巨理ロータリークラブの皆さんと一緒に行いました。あいにくの天気となりましたが、多くの方にご参加を頂きました。



税務研修会

十一月十八日(月)午後五時から巨理町・田園において、講師に仙台南税務署法人課税第一部門統括国税調査官 太田康明氏を招き「そうだったのか消費税」と題して税務研修会を行いました。



青年部会

ました。今年十月から消費税が改正され、統括から直接説明を聞く事が出来、貴重な時間を過ごすことができました。

青年部会・女性部会合同税務研修会

十月二十五日(金)午後六時半から大同生命ビル六階会議室において青年部会・女性部会合同税務研修会が開催されました。講師に(税法)深田会計税理士深田裕志氏を招き「消費税軽減税率について」と題し、既に施行されています消費税率軽減税率についての説明をうけました。



全国青年の集い「大分大会」

十一月八日(金)、いいちこ総合文化センターにおいて第三十三回法人会全国青年の集い「大分大会」が開催されました。当法人会青年部より十二名が参加いたし



ました。大会式典後「ポジティブ志向く健康な心と体で未来を動かす」と題してアン・ミカ氏の記念講演が行われました。

租税教室開催

小学六年生を対象とした租税教室が開催されました。青年部会、本部の皆さんが講師となり、名取市立那智が丘小学校(12/6)、巨理町立吉田小学校(12/9)、名取市立高館小学校(12/10)、名取市立館腰小学校(12/13)、の四校に「租税教室」を行いました。手作り教材とDVDを使用しながらクイズ形式で授業を進め、最後にケースの中から一億円(レプリカ)を取り出すと興味津々に触れていました。講師の皆様にご感謝いたします。



名取支部親睦ボウリング大会

毎年恒例となっている名取支部会社対抗親睦ボウリング大会が十月十一日（金）スタールボウル名取店で一六名の参加のもと行われました。皆様から沢山の商品のご協賛をいただき、ありがとうございました。



女性部会

未使用タオル贈呈

今年も「タオル収集のお願い」を申し上げましたところ、皆様からのご厚志により約六〇〇枚の沢山のタオルが集まりました。



この未使用タオルを特別養護老人施設「チアフル岩沼（岩沼市）」に大友担当副会長、女性部会役員・会員とともに寄贈いたしました。また、台風十九号で浸水・土砂崩れ、河川の決壊など甚大な被害を受けた地域へ（公

社）仙南法人会を通して寄贈いたしました。皆様のご協力に感謝申し上げます。引き続き未使用タオル収集を行いますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

税を考える週間

街頭キャンペーン

十月二十六日（土）『ララガーデン長町』一階正面入り口、二階・三階連絡通路において、仙台南税務関係団体協議会傘下の団体として「税を考える週間」の啓蒙活動としてチラシ配布等を行いました。



仙台南税務署長講演会

十一月二十二日（金）午後二時から太白区中央市民センター三階大会議室において仙台南税務関係団体協議会と共催で「税を考える週間」の特別講演として「租税史料から見る日本の税」と題して仙台南税務署長 古木隆幸氏を講師に迎え講演会を行いました。当日



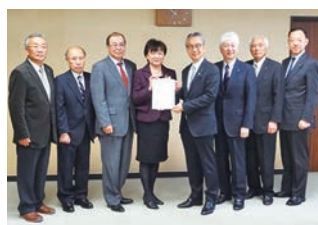
は会員・一般の方も含め約三十余名のご参加をいただきました。

税制陳情報告

当法人会では、仙台北法人会・仙台中法人会と共に十一月二十二日（金）に郡和子仙台市長、鈴木勇治仙台市議会議長へ税制改正要望の陳情を行いました。

十一月二十五日（月）に衆議院議員西村明宏議員へ税制改正要望の陳情を行いました。

十二月十一日（水）には村井嘉浩宮城県知事、石川光次郎宮城県議会議長へ税制改正要望の陳情を行いました。



衆議院議員 西村明宏議員（代理）へ

村井嘉浩宮城県知事へ

編集後記

新年明けましておめでとうございます。会員企業の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。さて、今年は東京で二回目のオリンピックが開催される日本にとって大きな節目となります。この年は「子年」にあたり、再び新しい運気のサイクルとなり、株式市場にも「子年は繁栄」という格言あり、株価が上昇する傾向があると言われていいます。オリンピックによる経済効果を考えて、あながち間違いでもなさそうですね。（広報副委員長 渡邊 大作）

仙台南法人会では広報誌「せんだい美名実」の設置場所の提供を求めています。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

広告募集中

当法人会では広報誌「せんだい美名実」など発送時に同封するチラシ折込広告を募集しております。お気軽にお問い合わせ下さい。（但し、広告内容によってはご要望に添えないことがあります。）

規格はA4版。一枚につき二十円（手数料込）

せんだい美名実 第313号

発行人 会長 佐藤 和也

編集 広報委員 会

発行所 公益社団法人 仙台南法人会
 〒982-0014 仙台市太白区大野田三丁目 番四八号
 レジデンス王ノ壇二〇二号
 ☎ 〇二二-二四六-三六一四
 FAX 〇二二-二四六-四五二〇
 E-mail: info@nmhnhco.com